

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【公表番号】特表2013-535465(P2013-535465A)

【公表日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-050

【出願番号】特願2013-521736(P2013-521736)

【国際特許分類】

C 07 C 1/20 (2006.01)

C 07 C 11/167 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 1/20

C 07 C 11/167

C 07 B 61/00 300

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年11月16日(2015.11.16)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

銀、金および銅からなる群から選ばれる金属と、酸化マグネシウム、酸化チタン、酸化ジルコニアム、酸化タンタルおよび酸化ニオブからなる群から選ばれる金属酸化物と、を含む固体触媒の存在下でのエタノールまたはエタノールとアセトアルデヒドの混合物の変換を含むことを特徴とする気相ブタジエンを製造する1ステップ法。

【請求項2】

酸化マグネシウム、酸化チタン、酸化ジルコニアム、酸化タンタルおよび酸化ニオブからなる群から選ばれる前記金属酸化物に、アルカリ金属酸化物および/または酸化セリウム、酸化スズまたは酸化アンチモンが追加されることを特徴とする請求項1の方法。

【請求項3】

銀、金および銅からなる群から選ばれる前記金属と、酸化マグネシウム、酸化チタン、酸化ジルコニアム、酸化タンタルおよび酸化ニオブからなる群から選ばれる前記金属酸化物とが、支持体上に設けられることを特徴とする請求項1の方法。

【請求項4】

200～400、大気圧の気相条件下、0.1～15g/g・hの重量空間速度で気相縮合のプロセスが実行されることを特徴とする請求項1の方法。

【請求項5】

反応混合物中のアセトアルデヒドとエタノールの重量比を(0～3)：10として気相縮合のプロセスが実行されることを特徴とする請求項1の方法。

【請求項6】

連続流固定層反応器の条件下で気相縮合のプロセスが実行されることを特徴とする請求項1の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

アイテム1に示すように、本方法を実施すると、触媒活性の高い安定性を保ちながら、ブタジエン生成物を高収率かつ高選択性で得ることができる。この結果が得られたのは、脱水素機能を有する金属を含む触媒の表面上に直接的に形成された気相中の高活性アルデヒド量が大幅に減少したためである。本結果は、副生成物およびコークスを伴う高縮合物の割合を減少させる。